

## PART2-1

### かくれ資産活用のススメ～節約の達人篇

丸山晴美  
節約アドバイザー ファイナンシャルプランナー 消費生活アドバイザー

#### 【経歴】

22歳の時に節約に目覚め、1年で200万円を貯めた経験がメディアに取り上げられ、その後コンビニ店長などを経て2001年節約アドバイザーとして独立。ファイナンシャルプランナー（AFP）、消費生活アドバイザー、宅地建物取扱主任士（登録）、認定心理士、家庭の省エネエキスパート検定合格、調理師などの資格を持ち、食費や通信費など身の回りの節約術やライフプランを見据えたお金の管理運用のアドバイスなどをテレビやラジオ、雑誌、講演等で行っている。

著書：「貯まる女になれる本」（宝島社）「1年で100万円貯まるすっきりお片づけ生活」（宝島社）「まるっとわかる!お金の基本」（宝島社）「みんなが知らない頭のいいお金の増やし方」（宝島社）  
公式HP：「らくらく節約生活。」 <http://www.maruyama-harumi.com>



#### ライフステージと密接に関わる“かくれ資産”

今回の調査で日本の家庭には推計37兆円の“かくれ資産”があることがわかりました。一世帯あたり約70万円と、年間のボーナス額に匹敵する額で、これは見過ごせない数字なのではないかと思えます。

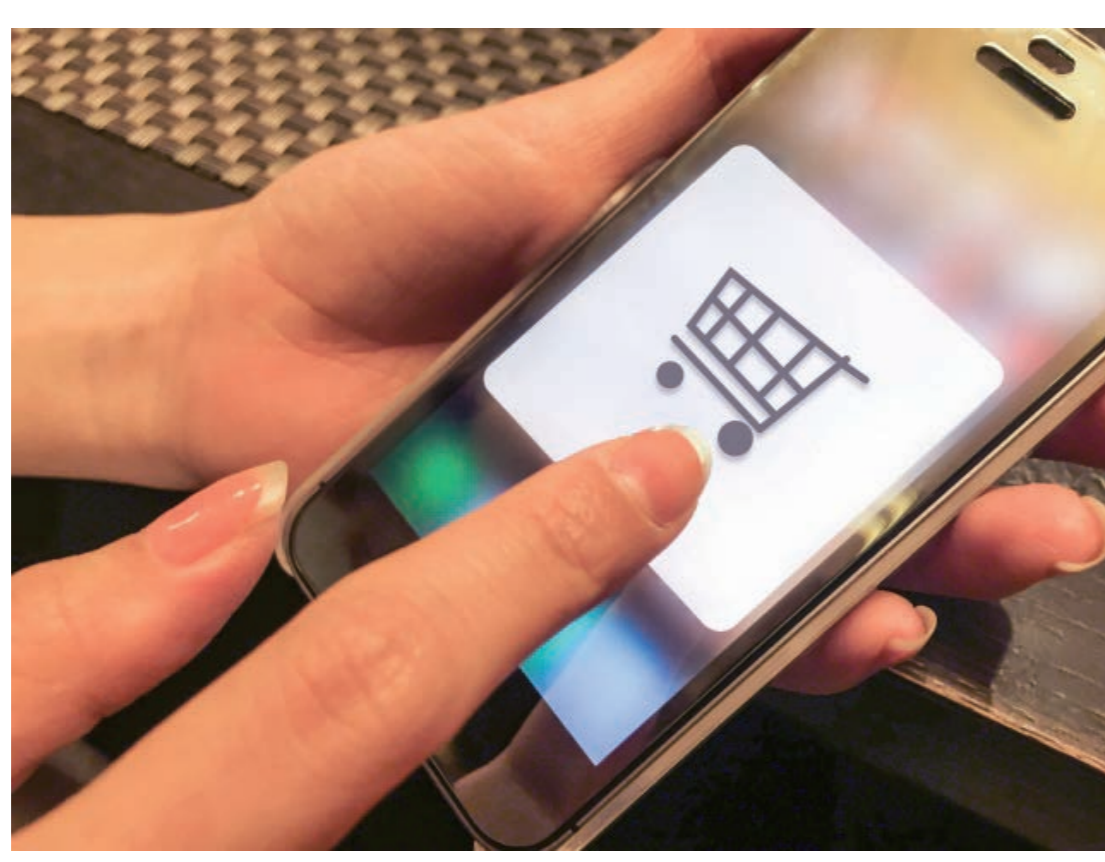
かくれ資産の内訳を見ると、女性は「服飾雑貨」が多いようですね。私も経験がありますが、年齢が上がるにつれて、以前に買った服が似合わなくなることがあります。一方で独身時代にはある程度お金をかけていいものを買っていたりするので、捨てるのがもったいないという事態になりがちです。



年代別に見ると60代以上の女性のかくれ資産額が高いのも興味深いところです。数十年分のモノの蓄積があることに加えて、処分的手段として「メルカリ」などの個人間取引ができるWEBサービスを活用しきれていないことも一因なのではと思います。

また40代男性でコレクター傾向が顕著なのは、ちょうど収入も増え、子どもの頃や若い頃になかった趣味のものを買えるようになってきたことが影響を及ぼしていると思います。

#### 予備軍も含めると意外と多い“かくれ資産家” ファイナンシャルプランナーからのアドバイス



かくれ資産が年収の20%以上を占める“かくれ資産家”ですが、まず特徴的なのが買い物傾向ですね。「ネットショッピング好き」「新品好き」「色買い経験あり」など、納得の結果です。とは言え、この特徴が当てはまる方はとても多いと思うので、“かくれ資産家”は予備軍もあわせると実際はかなりたくさんいらっしゃるのではと思います。

生活スタイルでは「捨てられない」「インドア派」「収集癖がある」といった傾向があるようですが、特に「インドア派」の方は、家の中を快適にするモノが多いのかもしれませんが。「手持ちのモノで間に合わせよう」というより、用途に合わせて種類を増やしたり、「これじゃなきゃだめ」といった強いこだわりを持つかくれ資産家像が、調査結果から見えてくる気がします。

ちょっとユニークなのが10代～30代のかくれ資産家の傾向です。「流行に敏感」「好奇心旺盛」で「SNS好き」と、いわゆる“リア充”傾向があるようで、もしかしたら一部には他の人に見てもらいたいという“自己顕示欲”のための消費も含まれているのかもしれません。



ファイナンシャルプランナーの視点からは、本当に必要なものだけ見極めて買って欲しいという気持ちもありますが、消費意欲旺盛なかくれ資産家の方にとっては、なかなかそうはいかないところ。そういった方へのアドバイスとしては、流行のものや一時的にしか使わないものは、フリマアプリなどを上手に活用して安く購入する、そして不要になったら再びフリマアプリで売るなどの工夫をすることで、過度にかくれ資産をためこまず消費を楽しむことができるでしょう。

#### かくれ資産を上手に現金化したいと思ったら 個人間取引がおすすめ!

かくれ資産の現金化の方法について、もっとも多くの人が行っているのが「リサイクルショップ・質店等への持ち込み」です。こうした買取店の場合一度にまとめて持ち込めることが便利ではあるものの、実際の買取価格は、フリマアプリやオークションサイトでの販売価格よりは低くなりがちです。企業の場合、買取や販売にかかる店舗運営費や人件費を加味して、買取価格を設定する必要があるため仕方ありません。



少しでも高く売りたいなら、個人間での取引の方が売主側の希望が金額に反映しやすいので、おすすめです。また、シーズン外のものや古いものはリサイクルショップ等では値段がつかないこともしばしばですが、フリマアプリやオークションサイトであれば、買い手候補が全国にいるので、売りたい価格とマッチすることもあると思います。

一方で家具や・家電など大型のものや専門性の高いものなど、まとめて引き取ってくれるサービスがあるリサイクルショップが便利なこともありますので、リサイクルショップとフリマアプリなどの個人間取引を賢く使い分けられるといいですね。

#### 平成最後の掃除シーズン到来! フリマアプリ&かくれ資産の活用で消費税増税に備えよう

今年の大掃除で発生する不要品を「フリマアプリ」で処分しようと考えている人は21.3%で、昨年よりも大幅に増加していますが、この傾向は今後もさらに高まると思われます。個人間売買には消費税がかからないので、2019年に消費税が10%に上がる、もしくは今後さらに上がっていくかもしれない状況の中で、家計における個人間売買での重要度はさらに増し、市場的にも大きくなるのが予想されます。

今は「売ること」を前提にモノを買う人が増えているようで、私の周囲の若いお母さんたちも、いずれ使わなくなる子ども用品は売れるかどうかを考えながら選んでいます。中古品に対する抵抗もなくなってきたように思います。モノを捨てずに活用することは、家計にも環境にもいいことですね。



世の中の傾向としても、シェアリングをしてモノを所有しない人が増えていると思います。モノをたくさん所有することで広い家が必要になったり、モノがあることで実は出費が増えてしまうので、かくれ資産を減らすことは、現金が増えるだけでなく、間接的に家計を助けることにもなると思います。



特にシニア世代にとっては、数十年の思い出の品が蓄積してモノが溢れているケースがある一方で、フリマアプリなどはやり方がわからない、相手とのやり取りや梱包・発送が面倒ということがあるかもしれません。その時は、ぜひお子さんやお孫さんなど家族の方が手伝ってあげて欲しいです。年末年始を機に、一度ご実家の「かくれ資産」を見直してみるのもいいかもしれません。

今年の大掃除は平成最後、そして来年には消費税増税が控えていますので、これを機にご家庭の「かくれ資産」を発掘して、上手に現金化して家計の助けにして欲しいと思います。